

「さくらんぼ産地サポーター企業」登録及び御協力をお願い

さくらんぼは、本県を代表する農産物で、全国の8割のシェアを占めています。さくらんぼと言えば山形県、山形県と言えばさくらんぼと、まさに本県は「さくらんぼ県」です。

一粒一粒丁寧に収穫され、全国の消費者に届けられるさくらんぼですが、近年は、高齢化と人手不足により労働者の確保が難しくなっています。

令和4年も、新型コロナウイルス感染症の影響が続いていることから、平時以上に労働力の確保が困難で、真っ赤なさくらんぼが収穫しきれずに園地に残ってしまう可能性が懸念されています。

さくらんぼは、本県農産物のけん引役であるばかりでなく、食品産業や観光など関連産業を含め、本県にとって経済波及効果の非常に大きい重要な基幹品目でもあります。

山形県がさくらんぼ日本一の産地として、さらに発展していくためには、地元の協力が不可欠です。県内企業におけるさくらんぼ収穫応援や、企業で働くさくらんぼ農家の家族の方々がさくらんぼの生産にも協力いただけるよう、農繁期に働きやすい職場環境づくりなど、企業の皆様にも「山形県の顔」を支えていただくことが、今、さくらんぼ産地には必要です。

つきましては、「さくらんぼ産地サポーター企業」の趣旨に御賛同いただき、積極的に御参加くださるようお願い申し上げます。

令和4年4月

さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム
チーム長 森谷 健
(山形県農林水産部次長)

【さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム】とは

平成27年4月、主産地のさくらんぼ労働力確保に取り組むため、「さくらんぼ労働力確保推進協議会」立ち上げ、さくらんぼ産地を支える各種取組みを実施してきました。

平成30年度より、参画地域を拡大（村山地域、置賜地域の市・JA）し、「さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム」と改め、さくらんぼ農繁期の労働力確保対策を実施しています。